

# はじまりの かたち

Yanagihara Yoshitatsu -  
Mukai Ryokichi -  
Sumikawa Kiichi -  
Sculpture  
Exhibition  
2022

彫刻展

澄川喜一

向井良吉

柳原義達

二〇二二年  
三月四日(金)↓四月二〇日(日)  
一〇時↓一六時 火曜日休館 ※三月二九日・四月五日は開館  
ときわ湖水ホールアートギャラリー  
山口県宇部市大字沖宇部二五四番地 ときわ公園内

**UBE  
BIENNALE**

UBE International Sculpture Competition

宇部市UBEビエンナーレ推進課  
TEL 0836-51-7282 FAX 0836-51-2777  
Mail museum@city.ube.yamaguchi.jp

主催 宇部市 協力 島根県立石見美術館 令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業





# はじまりのかたち

## 柳原義達・向井良吉・澄川喜一 彫刻展

Yanagihara Yoshitatsu - Mukai Ryokichi - Sumikawa Kiichi - Sculpture Exhibition 2022

具象表現で生命の本質に迫ろうとした柳原義達（1910-2004）、独自の手法で抽象彫刻の道を切り拓いた向井良吉（1918-2010）、造形と環境との関係を追求し、彫刻家にとどまらない活躍を続ける澄川喜一（1931-）。本展覧会では、『はじまりのかたち 柳原義達・向井良吉・澄川喜一彫刻展』と題し、彫刻のまち宇部に夢を託した3人の作品を紹介します。

「私の今年の一歩の仕事は、町を彫刻で飾ろうという運動を起そうということです。それは街々を美しい彫刻でいっぱいにしてみたいという夢です。」（東急沿線新聞 昭和36年3月17日引用）

UBE ビエンナーレの会場で、一際目をひく「蟻の城」(1962年)を制作した向井良吉が、1961年の新聞インタビューで語った言葉です。彫刻のまち宇部のはじまりに立ち会った3人が、それぞれに追い求めた表現の世界をお楽しみいただく機会となれば幸いです。

宇部市所蔵の柳原、向井、澄川作品計30点に加え、建設中の宇部市役所新庁舎への展示のため、新たに収蔵が決まった澄川による木彫作品「そりのあるかたち」(2012年)1点と、島根県立石見美術館所蔵のスケッチブック7冊を公開します。とくにスケッチブックはこれまで非公開とされていた大変貴重なものです。ぜひこの機会をご覧ください。



1 《道標・鳩》柳原義達 1978 2 《鳩》柳原義達 1989 3 《ドラマの開幕》(劇団民藝「リア王」舞台装置試作) 向井良吉 1992  
4 《萌芽(タペストリーのマケット)》向井良吉 1987頃 5 《MASK-AH》澄川喜一 1968

### 新規収蔵作品について 「そりのあるかたち」澄川喜一

澄川喜一（1931-）は、日本の伝統的な造形の美しさと技を現代彫刻に取り入れた、ダイナミックで洗練された造形で知られる作家です。「そりのあるかたち」は、素材である木の個性に向き合い、その美しさを抽象的な形体のなかに表した澄川のライフワークであるもっとも重要なシリーズ作品です。島根県六日市町（現・吉賀町）生まれ。山口県立岩国工業高等学校機械科卒業。東京芸術大学美術学部彫刻科卒業。東京芸術大学美術学部教授、東京芸術大学学長、新制作協会委員長、財団法人横浜市芸術文化振興財団理事長などを歴任。全国にパブリックアート多数。東京スカイツリーデザイン監修を務める。2020年文化勲章受章者。2021年宇部市特別功労者。現在、島根県立石見美術館館長、UBE ビエンナーレ運営委員・選考委員。



6 《そりのあるかたち》澄川喜一 2012 (撮影 木奥恵三) 7 《そりのあるかたち》澄川喜一 1981  
8 《そりのあるかたち》澄川喜一 1979



新型コロナウイルス感染防止のため、下記のとおりご協力をお願いします。

- 体調不良の際は利用しない
- 利用前後に手指消毒や手洗い
- 原則マスク着用、咳エチケットの徹底
- ソーシャルディスタンスの確保